

新型コロナウイルス感染職員の発生について

今般、当センターに勤務する職員が新型コロナウイルスに感染したことが判明しました。皆様にはご心配をおかけいたしますが、感染拡大防止に全力で努めておりますので、ご理解のほどをよろしくお願い申し上げます。

1 勤務する職員の概要

看護師（新型コロナウイルス感染症患者入院病棟勤務） 50歳代 女性
なお、当該看護師は患者病室（感染領域）に入室しない看護師詰所（非感染領域）でのモニター管理等に従事。勤務中は、常時マスク着用及び手指衛生を徹底しています。

2 経過、症状

4月15日（水） 深夜勤務明け帰宅後、同日夜から37.8度の発熱と頭痛。
4月16日（木） 以後自宅待機 咽頭痛持続。38度発熱。（出勤なし）
4月17日（金） 39度代発熱 症状持続。PCR検査。（出勤なし）
4月18日（土） 陽性判明。（出勤なし）

3. 行動歴

4月15日、深夜勤務明け帰宅後、同日夜から37.8度の発熱と頭痛。当センターの感染制御室に連絡。
翌日以降、自宅待機していましたが、症状が持続したことから、4月17日にPCR検査を受検。

4. 接触者

当該看護師は感染防止対策をとっていたため、濃厚接触者に該当する者はいませんが、発症直前に接触した可能性のある4月14日から15日までの深夜勤務を行った看護師2名については、18日以降自宅待機としております。
当該看護師2名の健康状態について、現時点では体調の変化はありません。

5. 感染拡大防止策

接触した可能性のある看護師2名は、引き続き、健康状態の確認を行います。
陽性判明した看護師の利用した可能性のある場所については、これまでも定期的に次亜塩素酸系消毒薬で消毒清掃を行っていますが、念のため、18日に改めて、消毒をしました。

6. 今後の診療体制

当該病棟は、新型コロナウイルス感染症対応病棟ですが、感染領域と非感染領域の導線管理が破たんした可能性は極めて低いと判断したため、病棟閉鎖は行いません。